

令和2年4月21日提供

問い合わせ先	
担当課	産業振興局 商工労働部 産業政策課
直通	072-228-7414
内線	3517
FAX	072-228-8816

令和2年1月～3月期地域産業経営動向調査の結果をとりまとめました

堺市と堺商工会議所は、堺市内の景気動向を把握するため、令和2年1月～3月期の地域産業経営動向調査を下記のとおり実施し、調査結果をとりまとめました。

記

1. 調査対象 堺市内に所在する事業所 800社
(回答企業 404社 回答率 50.5%)
2. 調査期間 令和2年3月13日(金)～令和2年3月27日(金)
3. 調査結果概要

今期(1月～3月期)の前年同期比を見ると、資金繰り、雇員数が悪化、業況判断、売上高及び採算が3期連続で悪化となった。

来期(4月～6月期)の予測については、雇員数は横ばい、資金繰りは2期連続で悪化、業況判断、売上高及び採算は4期連続で悪化となった。

今期の前年同期比の落ち込み幅も大きく、新型コロナウイルス感染症の影響が経済活動にもみられるため、引き続き市内中小企業の動向については、注視していく必要があります。

○業況判断

前年同期比の指標は3期連続で悪化(△28.9⇒△51.0)

来期見通しの指標は4期連続で悪化(△51.0⇒△54.5)

○売上高

前年同期比の指標は3期連続で悪化(△22.8⇒△39.6)

来期見通しの指標は4期連続で悪化(△39.6⇒△51.0)

○採算

前年同期比の指標は3期連続で悪化(△17.9⇒△36.9)

来期見通しの指標は4期連続で悪化(△36.9⇒△50.5)

○資金繰り

前年同期比の指標は悪化(7.1⇒△5.2)

来期見通しの指標は2期連続で悪化(△5.2⇒△13.4)

○雇員数

前年同期比の指標は悪化(0.5⇒△6.4)

来期見通しの指標は横ばい(△6.4⇒△6.9)

令和2年1月～3月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関

堺商工会議所 〕

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 令和2年3月13日（金）～3月27日（金）

4. 回収率		<u>調査対象数</u>	<u>回収数</u>	<u>回収率</u>
	建設業	200社	100社	50.0%
	製造業	200社	101社	50.5%
	卸売業	100社	50社	50.0%
	小売業	100社	53社	53.0%
	サービス業	200社	100社	50.0%
	全産業	800社	404社	50.5%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(1月～3月期)の前年同期比を見ると、資金繰り、雇用人員が悪化、業況判断、売上高及び採算が3期連続で悪化となった。

来期(4月～6月期)の予測については、雇用人員は横ばい、資金繰りは2期連続で悪化、業況判断、売上高及び採算は4期連続で悪化となった。

今期の前年同期比の落ち込み幅も大きく、新型コロナウイルス感染症の影響が経済活動にもみられるため、引き続き市内中小企業の動向については、注視していく必要がある。

1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は3期連続で悪化。
($\Delta 28.9 \Rightarrow \Delta 51.0$)

・来期見通しの指標は4期連続で悪化と予測。
($\Delta 51.0 \Rightarrow \Delta 54.5$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、サービス業は2期連続で悪化、製造業、卸売業及び小売業は3期連続で悪化、建設業は4期連続で悪化。

・前年同期比の指標は3期連続で悪化。



2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は3期連続で悪化。
($\Delta 22.8 \Rightarrow \Delta 39.6$)

・来期見通しの指標は4期連続で悪化と予測。
($\Delta 39.6 \Rightarrow \Delta 51.0$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、小売業は悪化、建設業、卸売業及びサービス業は2期連続で悪化、製造業は3期連続で悪化。

・前年同期比の指標は3期連続で悪化。



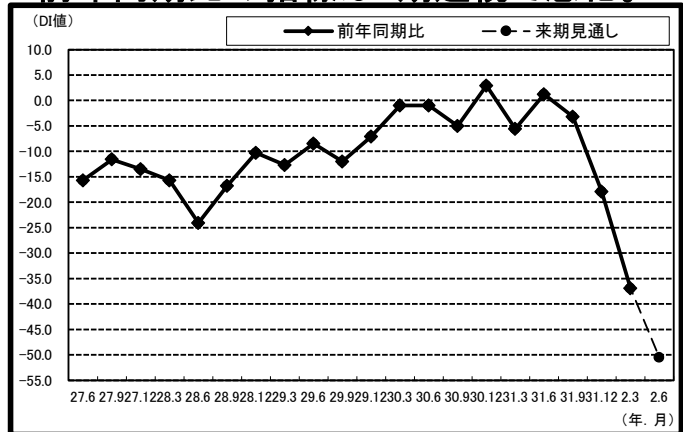
3. 採算の動向

・前年同期比の指標は3期連続で悪化。
($\Delta 17.9 \Rightarrow \Delta 36.9$)

・来期見通しの指標は4期連続で悪化と予測。
($\Delta 36.9 \Rightarrow \Delta 50.5$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、卸売業、サービス業は2期連続で悪化、建設業、製造業及び小売業は3期連続で悪化。

・前年同期比の指標は3期連続で悪化。



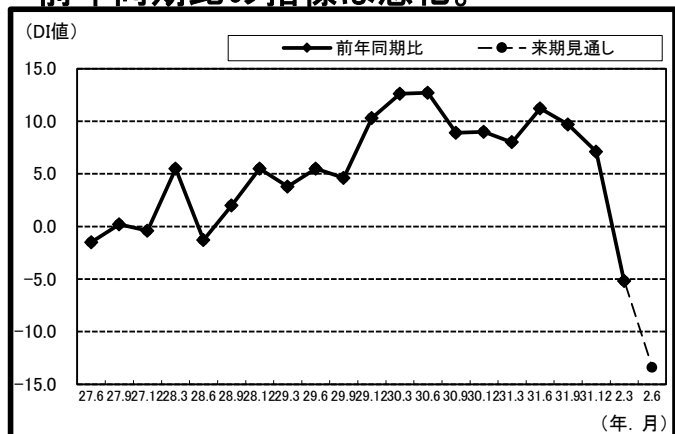
4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標は悪化。
($7.1 \Rightarrow \Delta 5.2$)

・来期見通しの指標は2期連続で悪化と予測。
($\Delta 5.2 \Rightarrow \Delta 13.4$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業・製造業及び卸売業は悪化、小売業、サービス業は2期連続で悪化。

・前年同期比の指標は悪化。



5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標は悪化。
($0.5 \Rightarrow \Delta 6.4$)

・来期見通しの指標は横ばいと予測。
($\Delta 6.4 \Rightarrow \Delta 6.9$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、サービス業はやや改善、建設業、製造業、卸売業及び小売業は悪化。

・前年同期比の指標は悪化。

